

平成14年度 小学校ジョイフル英語学習実践事例

小学校名	東濃地区小学校	対象学年	4年	実施時期	7月
題 材 名	動作であそぼう！				
主な表現 補助資料	<ul style="list-style-type: none"> ・ walk, run, jump, sit down, stand up, hop, turn around, wave, touch, kneel, open your hands, clap your hands, raise your hands, ・ 掛け図, ゲーム 				
本時の 目標	<ul style="list-style-type: none"> ・ 動作を表す言葉 (walk や run など) を知り, それらを使ったゲームをすることを通して, 動作を表す言葉に親しむことができる。 				
学 習 活 動	教 師 の 指 導 ・ 援 助	留 意 点			
<p>1 あいさつをする。 AET : Good morning. S : Good morning. S : Stand up. AET : Are you ready? S : Yes. AET : Sit down, please. AET : How are you? S : I'm (), thank you.</p> <p>2 動作を表す言葉の言い方を知り, 声に出して言ってみる。 walk(歩く) run(走る) jump(飛ぶ) sit down(座る) stand up(立つ) hop(けんけんをする) turn around(回る) wave(手を振る) touch(触る) kneel(ひざまづく) open your hands (手を開く) clap your hands(手をたたく) raise your hands(手をあげる)</p> <p>③ 動作を表す言葉を使ってゲームをする。 AETの指示に従って動く。 (例) AET : Jump Students : Jump と言いながらその動作をする。</p> <p>4 まとめをする。 本時学習した動作を表す語を絵を見ながらもう一度言ってみる。</p> <p>5 あいさつをする。 Stand up. Good-bye. Sit down, please.</p>	<p>A: 児童が大きな声と動作で堂々とと言えるように, 自らモデルを示すようにする。 J: 一人一人の声や動作のよさを大いに認めるようにする。</p> <p>A/J: 自分の気持ちをきちんと声に出してと言えるように, 表現の例を示す。</p> <p>A: 発音の仕方を児童に示す。 J: 児童と一緒に発音しながら, 一人一人が発音している様子を把握する。 J: 発音がよくわからない児童のそばで, 一緒に発音する。</p> <p>A: 子供たちの段階に応じて, 二つ組み合わせたりして, いろいろな動作の指示を工夫する。 J: 児童と一緒に動作をしたり, 児童の様子を見て回り, うまく動作ができた児童を認める。</p> <p>A: 掛け図をもとにもう一度復習として動作を表す言葉を発音する。 J: 活動中に見られた児童のよさを価値づける。</p> <p>A/J: 大きな声で挨拶できるように, モデルを示す。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ あいさつの表現が定着するように, 教師も意識して毎時間繰り返す。 ・ 明るく元気な雰囲気の中で授業が進むように, 児童一人一人の声や動作のよさを誉めていく。 ・ 掛け図の絵, AETの表情や発音など, 視覚的かつ聴覚的に理解できるように配慮する。 ・ 発音はAETの模倣で何度も繰り返し発音する。 ・ 特に難しい表現については, 繰り返し発音する回数を増やす。 ・ 回数が進んだら, 動作も取り入れながら発音する。 ・ ゲームについては, 間違いを正すことより, 楽しんで, 積極的に発音や動作を行うことを重視する。 ・ まとめでは, 積極的に指示に反応して動作をしたり, 大きな声で発音している児童の良さに着目して, 教師の評価や児童相互の評価を取り入れる。 			